

市の将来像を定めた「国分寺市基本構想」や 議員定数を24人とする条例などを可決

市議会の第4回定例会は、11月30日から12月22日までの23日間の会期で行い、議案31件、陳情6件について審議しました。

審議の結果、「国分寺市基本構想」および議員提出議案である「市議会議員定数条例」・「市立図書館条例」の一部改正等、提案された議案のうち1件を継続審査とし、その他を可決しました。

一般質問では、4日間にわたり、22名の議員が市長等と活発な議論を交わしました。



今後10年間の市の方向性を示す 「国分寺市基本構想」を賛成多数で可決

「国分寺市基本構想」は平成9年度からの第三次基本構想が終了することから、引き続き総合的かつ計画的な市政を運営するため平成19年度からの第四次基本構想を制定するものです。

第四次基本構想調査特別委員会での審査では「行政経営と行政運営の概念に関し、全体の奉仕者である職員の位置づけを考え方の基本とすることが必要だ」「当市は文化水準が高く、他市にない歴史を持つ市であることから、健康で文化的な都市という将来像は変えるべきではない」といった見解を示し、「市庁舎の建て替え」「ごみ焼却施設整備」「収支均衡型の財政体質」などについて多くの指摘をしました。

当初案を撤回、行政経営は行政運営に

そのため、市長は当初の案を撤回し、改めて議案を提案。この案に対し委員会及び本会議では、反対の立場から「『行政経営』を『行政運営』と替えても、その精神は変わっていない。子どもの施設を中心に民営化を打ち出し、正規職員を減らして非正規職員の低賃金労働者に切り替えている。市役所が市民サービスの機関に徹するためには正規職員による仕事が必要だ」。

賛成の立場から「議案が再提案され、基本構想に『健康で文化的』『市民主権』という基本的な性格が位置づけられ評価する。健全な財政を維持し、何が最も市民のためになるかという視点の努力を続けていくことが必要だ。市民との協働のあり方が十分であったか検証する必要があったのではないか」との見解が示され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

「議員定数を24名に削減」 議員提出議案を可決

現在、各地の議会で議員定数を見直す論議が盛んです。当市にも現行の26名を22名に削減することを求める陳情が提出され、議会運営委員会で審査した結果、不採択となりました。

しかし、全庁挙げて行財政改革を進めている中、議会としても何らかの姿勢を示めさなければならぬとの立場から、現行の26名を24名に削減する議員提出議案が提案されました。

同議案が付託された議会運営委員会では、提案議員の出席を求め、委員からは「人数を減らせば一人ひとりの責任が重くなる。数を減らしても質を低下させず、むしろ活性化させるという強い意志が必要だ」「議員は市民と市政のパイプ役。人数が減ればそれだけパイプが細くなり、住民の意思が議会に反映できなくなる」など様々な観点から質疑が交わされましたが、採決の結果、賛成多数で可決しました。

議員の中で賛否が分かれる

その後の本会議で、採決に先立ち討論を行い、反対の立場から「首長・議員の不祥事や税の負担増などで、議会や議員の存在を無駄と考える指摘がある。これに対し自らの削減でしか対応できないことこそ問題である。議員を減らすことは市民の権利を削ること。議員の役割は多くの市民の声を施策にどう生かすか、それが最大の役割である。市の役割が増える中、議員の役割を大きく確かなものにするこそが今求められている」。

賛成の立場から「市は安定的な自治体運営を続けられるよう職員の100名カットや民間委託

などを行い、行政改革を推進している。定数削減は、議会として改革を進める決意を示したもので、多くの市民の声を反映したものである。当市と同規模の近隣市は、既に24名であり、当市も削減しても議員の役割は十分に果たせる。議員各々が研鑽し、議会の監視機能の強化と市民の声を反映できるような活動が必要となる」との見解が示され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

「図書館条例」を改正し、 国分寺駅北口に分館設置

国分寺駅北口再開発区域内へのパチンコ店の出店について、今議会において議員から質問がありました。それに対し市長からは「図書館に関しての市民要望が高いことから、IT技術を活用した新たな機能の拡充も併せ、IHUFJ銀行跡に、本多図書館の分館設置を検討中である。また、図書館を設置すると風営法により、近隣にパチンコ店の営業許可がおりないため、出店阻止もできる」との答弁がありました。

議員提出議案で速やかに対応

これを受け、議員からも早急に「国分寺市立図書館条例」を改正し対応すべきとの意見が高まり、議員提出議案で改正案を提案しました。

市長からは今回の議員提案に対し、分館設置に向けての補正予算案を提案したいとの発言もあり、採決の結果、全員賛成で可決しました。

議会が以前から求めてきたIHUFJ銀行建物の有効活用や、市民からの図書館開館時間の延長、貸出・返却の利便性向上等の要望が、分館設置により実現されると期待できます。